



北巢本小だより

<https://www.city.kadoma.osaka.jp/school/kitasumoto/>

(ホームページにも学校の様子を公開していきます)

『新しい時代を切り拓く
子どもの育成』

子どもを大切にし
子どもの力を信じ
子どもの力を引き出す

運動会特集

週間天気予報では、雨天も危ぶまれましたが、当日は少し暑いぐらいの晴天に恵まれました。

ホームページでも紹介しましたが、運動会直前(14日)の練習を見学していると、どの学年の子どもたちからも、運動会本番へ向けた意気込みがひしひしと感じられ、本番がとても楽しみな気持ちになりました。

そしていざ本番。4~6年生は3年ぶり、1~3年生は初めての運動会で、子どもたちの表情からは、いささか緊張している様子が伝わってきます。



開会式、ラジオ体操に続き、赤白の応援合戦が始まりました。応援団を筆頭に、それぞれ声を張り上げ、みんなで応援コールのぶつけ合い。最後の応援歌でのかけ合いは、聞いていて身ぶるいがするほどでした。



そしていよいよ各学年種目が始まります。

最初は、1・2年生による50m走「スピード王におれはなる!」。50メートルの直線を一生懸命最後まで走りぬきました。



続いて、3・4年生による団体演技「彩~



いろどり~」。色鮮やかなフラッグが美しくはためき、タイミングも見事に揃っていました。フラッグの「バシッ!」

という音が印象的でした。

次は、5・6年生によるリレー「継」。バトンをつなぐ=次の人に「頑張れ!頼んだぞ!」という思いを託す気持ちで込められていたと思います。チームのために必死で頑張る姿が見られました。



ここで後半に入ります。

1・2年生による団体演技「キミにきめた!」。ノリのいい曲に合わせて、一つ一つのポーズがとても決まっていた。



3・4年生の個人走「ピーナッツより走るのが大好き!!」では、3年生は80m、4年生は100mを走ります。どちらもセパレートコースでコーナーを曲がります。長いコースを走るの



初めてですが、最後まで諦めず走り抜きました。

最後は、5・6年生による団体演技「真剣笑舞」。1曲目は鳴子を持って演じます。三味線の音に合わせて、直線と曲線の動き、緩急の動き、静止時の動作一つ一つに神経が行き届いていました。最後は「ソーラン節」。しっかりと腰を落とし、力強い動きでとても迫力がありました。真剣な眼差しでまさに圧巻でした。



この日のために一生懸命練習してきた子どもたちは、運動会本番で練習以上の成果を出し切り、見ている人たちに大きな感動を与えてくれました。そして何よりも子どもたちの成長を強く感じる事ができました。こうして子どもたちが本番で力を発揮できたのも、日頃から保護者の皆様や地域の皆様のあたたかい励ましがあったからこそと思います。また、保護者の皆様におかれましては、子どもたちへのあたたかい拍手や応援をしていただき有り難うございました。